

栄中だより

令和7年7月1日
草加市立栄中学校
TEL 048-941-2587
学校だより 7月号

校訓 自主 自律 親和 協力

<http://www.soka-stm.ed.jp/sakae-jh/>

学校教育目標 ○自ら学び考え、行動する生徒 ○豊かな心を持ち、思いやりのある生徒 ○健康で、たくましい生徒
栄中生徒の合言葉 【 ㊦ 爽やかなあいさつ ㊧ 輝く笑顔 ㊨ 英気あふれる 栄中学校 】

他人への配慮や心配りを表した「思いやり算」

校長 大野 正浩

1学期が終わろうとしている。振り返ると、なんとといっても5月の運動会が強く印象に残っている。当日は、曇りで気温も上がらず、運動するには適切な気候であった。特に印象に残っているのは、3年生の姿であり、すばらしかった。3年生全体で運動会を盛り上げようという雰囲気を持ち、体育委員が主軸となってリーダーシップを発揮し、真剣な取り組みの中で楽しもうという空気を作っていた。それが1、2年生にも伝わり、全体が良い雰囲気、応援や励ましの拍手などが響いていた。ご来賓の方々にもお褒めの言葉をいただいた。運動会を通して、クラスや学年のまとまり、絆が強くなったように感じる。次の行事等で生かしてほしいと思う。

さて、話は変わるが、「おもいやり算」というのを知っているだろうか？その発想に感心し、おもしろいなど思ったので紹介する。

四則演算（足し算、引き算、掛け算、割り算）を「人を笑顔にする算数」として捉え、具体的な行動と結び付けた言葉である。

+	(たす)	たすけ合うと大きな力に	-	(ひく)	ひきうけると喜びが生まれる
×	(かける)	声をかけるとひとつになれる	÷	(わる)	いたわると笑顔が返ってくる

「+は、助(タス) け合う」→困っている人に手を差し伸べる、困っている人に声をかけて、共に解決策を考えるなど。

「-は、引(ヒキ) き受ける」→頼まれたことを引き受ける、自分の力でできる範囲で協力するなど。

「×は、声をかける」→相手の状況や気持ちに気づき、声をかける、励ます言葉を伝えるなど。

「÷は、いたわる」→物や情報を共有する、負担を分担する、経験を共有するなど。

という意味で、この「おもいやり算」は、いつでもどこでも誰にでもできる思いやりの行動である。困っている人や困難に直面している人を見かけたら、どんなことでもいいので、寄り添い手助けをしてあげようという算数である。

ひと声かけてあげるだけでもよいのである。思いやりの言葉は人を笑顔にする。たった一つの言葉で励まされたり、心が楽になったりした経験は誰にでもあるだろう。

「いじめ」が大きな社会問題となっている。本校でも、嫌なことを言われた、些細なことからいがみ合いになった、あるいはラインやSNSでトラブルになった……などが実際に起きている。もし、皆が「おもいやり算」のように、助け合ったり、引き受けたり、声をかけたり、いたわったりしたら、きっとトラブルはなくなり、笑顔で安心して過ごせる、明るく楽しい、充実した世界や学校生活が実現できると思う。

1学期は、本校の学校教育にご理解、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。夏休み中は、ご家庭で規則正しい生活を送るようご指導よろしくお願ひします。1、2年生は、部活動と宿題を中心に復習、3年生は、受験に向けて計画的に勉強を頑張らせてください。ご家族共々ご健康に留意されお過ごしください。2学期もどうぞよろしくお願ひします。